

ヘルメットいつ被るの？今でしょ

宮城県仙台第三高等学校 普通科

要旨

私達は、仙台三高でヘルメットの着用が義務化されたにも関わらず、ヘルメットを着用していない人が見られたため、自転車に乗る三高生全員にヘルメットを着用してもらえようこの探究を始めた。まずはじめに、私達はアンケート調査を行い、ヘルメットの着用状況とヘルメットを被らない理由について調査した。その結果、ヘルメットをしっかり被っている人は半数以下であり、被らない理由として、暑い、ダサい、髪型が崩れるなどがあった。これらに対し、私達は、他県の取り組みや簡単な対策方法について調べ、学生でも簡単にできるヘルメット診断や対策グッズなどを紹介した。また、対策について考える中で、ヘルメットをかぶろうという意識が大事であると感じ、まずは自分たちからその姿勢を示していこうと考えた。の解決策を提案する。

1 はじめに

私達の探究では、はじめに昭和から令和にかけての教育方法の変化やそれぞれの課題について調査した。その中で、令和の教育の課題について、いじめの増加や、教師による厳しい教育が緩和されたことから、規範意識の低下が問題となっている。規範意識と学校教育が関連した問題として、いじめや校則を守ることなどが挙げられる。しかし、仙台三高では、昨年度から自転車乗用中のヘルメットの着用が義務化されたことを受け、ヘルメットの着用問題について注目した。実際、仙台三高でヘルメットの着用が義務化されたが、登下校の際、自転車に乗っている人の中でヘルメットを着用していない人が見受けられた。そのため、自転車に乗る三高生全員がヘルメットを着用し、安全な登下校をしてもらうため、この探究をはじめた。

2 研究方法

① 現状の把握

仙台三高の三学年を対象にヘルメットの着用状況を調査した。

② 訪問調査

修学旅行時に京都市役所建設局自転車政策推進室を訪問し、ヘルメット着用率を上げるための対策方法について調査、議論を行った。

③ 解決策の提案

①、②をもとに、ヘルメット着用の問題について

3 アンケート調査の結果と考察

私達は、まずはじめに、三高の三年生へ向けて、ヘルメット着用についての現状を知るための二つのアンケート調査を実施した。一つ目の調査では、自転車に乗るときのヘルメットの着用状況を調べた。ヘルメットについて、

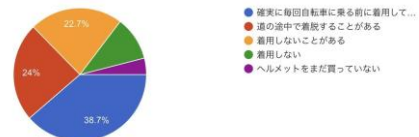
- ・毎回着用する
- ・道の途中で着脱する
- ・着用しないことがある
- ・着用していない
- ・ヘルメットを持っていない

という五つの項目に分け、該当する項目を答えてもらい、さらに、「毎回着用する」と答えた人以外の人へ向けて、ヘルメットを着用したくない理由について答えてもらった。(図1)

自転車に乗る時、あなたのヘルメットの着用状況を教えてください

75 件の回答

グラフをコピー



二つ目の調査では、ヘルメット着用に対する意見について調査した。

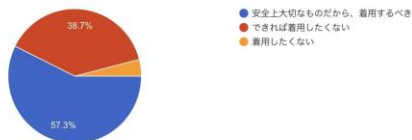
- ・着用するべき
- ・できれば着用したくない
- ・着用したくない

という三つの項目に分け、該当する項目を答え

てもらい、一つ目の調査と同様に「着用すべき」と答えた人以外の人に向けて着用したくない理由について答えてもらった。(図2)

ヘルメットの着用に対するあなたの意見を聞かせてください。
75 件の回答

グラフをコピー



一つ目の調査からは、毎回ヘルメットを着用している人は 38.7%であることが分かり、ヘルメットの着用をもっと促していくべきだと感じた。二つ目の調査からは、ヘルメットを着用すべきと考えている人は半数を超えており、ヘルメットを着用していない人の中にもヘルメットをつけるべきだと考えている人がいることが分かった。また、二つの調査から、ヘルメットをつけたくない主な理由は、

- ・暑い
- ・ダサい
- ・面倒くさい
- ・髪型が崩れる

というようなものであった。(図3)

「確実に毎回自転車に乗る前に着用している」以外を答えた方はそうしている理由を教えてください

44 件の回答

暑い
めんどくさいから
あつい
暑いから。
電車に乗るときにヘルメットを持っていくのがめんどくさい
忘れていくから
髪型崩れるし、暑いし、もうサイアター
ヘルメットが壊れたから
ずっと寝ると髪型が崩れて嫌だから途中から着けている

4 対策について

まずはじめに他県が行っている取り組みを調査した。

- ・愛媛県(ヘルメット着用率全国一位)

2014 年に高校生が亡くなる自転車事故が発生し、翌年に県立高校で初めてヘルメット着用の義務化とヘルメットの無料配布が行われた。その後、県内の高校でヘルメット着用の義務化が進み、周りがつけるから自分もヘルメットを着用する意識が高まった。

- ・京都市役所(修学旅行時に訪問)

パンフレットの作成、出前授業、付箋や絆創膏

などのグッズの作成、配布を行っている。しかし、大人だけではより多くの人に響きづらいという悩みがある。

次に、暑さや髪型が崩れることに対しての対策グッズを調べた。

- ・エアーヘッド

シリコンパッドをヘルメットの内側に付け、頭とヘルメットの間に物理的空間を作り、蒸れや髪型の崩れを防ぐ。

- ・インナーキャップ

群れを防ぐことのできるキャップ

また、ダサいということに対して、ヘルメット診断というものがある。(資料1)



少ない質問に答えるだけで簡単に自分にあったヘルメットとそのヘルメットを組み合わせたファッションを提案してくれる。

最後に、自分たちができることとして、声掛け運動や啓発動画の作成がある。啓発動画の工夫として、シリアスな雰囲気動画だけでなく、見てもらいやすいユニークな動画を作成できたら良いと思う。

5 まとめ

ヘルメットの着用状況はまだ改善が図れていないため、今後も活動を続けていく必要がある。その中で、私達ができることとして、動画やポスターの作成をし、より多くの人に私達の意思を伝えていくことや、愛媛県の例を参考にまずは私やその身の回りの人から、意識を高めていくことがあると思う。自転車通学の生徒が多い仙台三高で生徒が危険な目に合わないよう、これからもヘルメットを着用してもらえよう、頑張っていきたい。

参考文献

警察

庁:<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/toubuhogo.html>

CBCnews :

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/cbc>

au 損保ヘルメット診断 : https://www.au-sonpo.co.jp/pc/lp_helmetkaburo/sindan/

山口県警察公式チャンネル :

<https://youtu.be/ldkPKaKY48I>

abstract

Many Sanko students don't wear a helmet, so we aim to wear it for Sanko students. We conducted two questionnaires . From this, we know less than half of students wear a helmet and more than half of students think we should wear it. Also, we got reasons why don't wear a helmet. Many students think wearing a helmet is hot and not cool. To solve this problem, we think Sanko students should use an air head and do a helmet diagnosis. We want every Sanko student to wear a helmet.